

シチズン時計の時間に関する調査によれば、「すぐに処理」と言われたら約5割の人が「10分以内」を想定し、次いで「30分」という結果でした。時間の感覚は人それぞれでも信頼関係を左右する大事なポイントです。「すぐに対応してほしい」と言われたら極力10分以内、遅くとも30分以内を目安に行動したいものですね。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【税の歴史をさかのぼってみましょう!】

飛鳥時代の701年に完成した大宝律令では、「耕地の広さに応じて稲を納める税」や「その土地の特産物を納める税」など、租・庸・調という税の仕組みができました。室町時代は米などの年貢が税の中心でした。



また、街道に設けられた関所では、通行税の関銭などが税として課せられました。安土桃山時代は豊臣秀吉が太閤検地を行い、農地の面積だけでなく収穫高なども調べて年貢を納めさせるようにしました。

江戸時代には、当時の営業税や営業免許税にあたる運上金・冥加金を、商工業者などに課税するようになりました。明治時代になると政府は、歳入の安定を図るために地租改正を実施します。地券を発行して土地の所有者を確定し納税義務を課しました。そして、課税の基準を従来の収穫量から地価に改め、地租として貨幣で納めるようにしました。また、所得税や法人税が導入されたのもこの頃です。現在ある税の仕組みができはじめたのは大正時代から昭和初期にかけてで、1940年(昭和15年)には源泉徴収制度が採用されました。1989年(平成元年)には消費税が導入されます。当初の税率は3%でしたが1997年には5%に、そして2014年の今年に8%となりました。このように税の制度は、社会の変化にともない変わってきました。そして、これからもまた変わっていくことでしょう。

今を生きる

先人の言葉

時間の守れん人間は
何をやっててもダメだ

スタッフコーナー 担当：伊東 真紀

夏の風物詩、戸田橋の花火を見に行ってきました。毎年、川口のたたら祭りと日にちが重なっているので、オートレース場からの帰り道、遠目でしか見たことがありませんでしたが、今年は、義母が入居した戸田の介護施設から「屋上で花火を見ますので、ご家族の方もどうぞ。」とお誘いいただき、主人と2人で出かけました。浴衣姿の職員の方に案内されて、屋上に行くと言われて「来てくれてありがとう。」と言われました。7時過ぎに打ち上げられた花火に「わあ〜!!」と歓声が上がりました。入居者の中には「こんな花火は初めてだ!今まで生きてきて、こんなすごい花火は見たことがない!」と何度も興奮して話している方もいました。私自身もこんなに間近で花火を見たことがなかったので、ドーンドーンという音と地響き、夜空いっぱいの大きな花火を見て、ドキドキしました(主人は、施設内なのでアルコールもなく、途中で飽きてしまったようですが)。1時間半楽しんだ後、義母に「また来るね。」と手を振り、義母のおかげですてきな花火が見られた事に感謝しつつ、人ごみの中家路につきました。

365日が楽しくてたまらない! 『商売のヒント』

今月の商売のヒント:【「今」に最善を尽くす】

経済は感情で動くといわれます。また、世界情勢も感情で動くといわれます。なぜなら人が感情で動くからです。商売にもやはり感情が入り込みます。例えば同じ失敗をしても許される人と責められる人がいるのは、受け取る側の「好き嫌い」や「たまたまの気分」によるところも大きいでしょう。

取引相手の気分によって商売に不利益がもたらされるのは残念な話ですが、あなたの感情も商売相手に影響を及ぼしているかもしれません。仕事に私情は禁物だという意見はごもっともです。しかし、実際は商売の様々な場面で多少なりとも感情が影響を及ぼし、しかもその割合は決して小さくないようです。

たとえ無意識でも感情に左右されるのはお互い様。それを理解した上で商売のやり方を見直すと、自分だけで決着する事柄は思いのほか少ないことに気付くでしょう。つまり商売では、相手にゆだねなくてはならない部分がけっこう多いということです。経営者の中には、何から何まで自分でコントロールしないと気が済まないタイプの人がありますが、相手にゆだねる部分がある以上、すべてをコントロールするのはなかなか難しいものです。なぜなら人の感情をコントロールするのは、売上げを伸ばすこととはまた別の能力だからです。また、すべてに全力投球する姿勢は素晴らしいことだと思いますが、自分の「感情」というボールを常に相手に全力投球することが必ずしもよい仕事につながるとは限らないでしょう。

相手の真意を探るためにおどけたふりをしたり、相手に花を持たせるためにあえて7割のところをやめたりといったことが必要な場面も多々あります。相手の感情をコントロールするより、感情の影響力を最小限にとどめる工夫をする。

常に最強で行こうとするより、「今」に最善を尽くす。それがよい仕事につながっていくのではないのでしょうか。目の前の仕事や出来事に意識を向けて、今の状況に最も適した判断と行動をすることで、移ろいやすい感情に振り回されることなく、自分自身のブレない軸をしっかり持ち続けていきましょう。



編集後記

今年も夏の甲子園が開幕しました。埼玉県は春日部共栄高が9年ぶり5度目の出場となりましたが、ここの女子マネージャーが色々噂になっているようです。2年間で2万個ものおにぎりを作り、部員の体カアップに貢献したことや部活動に時間をさくため選抜クラスから普通クラスに転籍したこと等。一方、東海大四高の西嶋投手(身長168cm体重59kg)の超スローカーブについても色々言う人がいるとか。ブログやツイッター、フェイスブック等は自由に自分の考えを発信出来ます。芸人やプロ野球選手ならまだしも、普通の高校生を見ず知らずの人が批判的な意見を言うのはどうなのかとも思います。昨年の花巻東高の千葉選手(身長156cm体重56kg・現日本大学)のカット打法も色々と言われていました。春日部共栄のように近年の高校野球では食べるのも練習と高校球児は年々大型化しています。前出の2人のような身体の小さな選手は大きな選手にも負けないよう考えに考えて血のにじむような努力をして、夢にまで見た甲子園という晴れの舞台に立つことが出来たのだと思います。私も都内の強豪高で野球をしていました。残念ながら甲子園には行けませんでした。大変なことばかりでしたが、一生懸命高校野球をやったおかげで色々なことを学ぶことができました。この女子マネージャーも『報道されて推薦入試に有利になった』等も言われたようですが、『これから勉強を頑張って、推薦でなく一般入試だけを考えています。たいてきた人を見返してやらなきゃ』と言っているようです。高校時代頑張ったおかげで、少なくともこのような根性を彼らも身につけてこれからの人生できっと活躍することでしょう。

お知らせ 詳細はお問い合わせください!

- 役所から書類が届いた場合は、中身をご確認後、なるべく早めにご連絡下さい。
- 税務署からの電話には弊所をまず通すようにお伝え下さい。
- 「保険管理ファイル」無料で作成いたします。
- ご意見・ご感想等をお待ちしております。

本田税理士事務所

〒335-0002

埼玉県蕨市塚越1-4-22 5F

電話: 048-431-2771

FAX: 048-431-2786

<http://www.zeirishi-honda.jp>